

歯科放射線診療ガイドライン委員会第8回会議議事録

日時：2010（平成22）年9月3日（金）15:00～15:40

場所：鹿児島大学工学部講義棟112号室

出席者：小林馨，中山英二，犬童寛子，林 孝文（順不同・敬称略）

報告事項：

1. インプラントの画像診断ガイドラインについて

1) 改訂について（継続審議事項）

現在の第2版（Minds 掲載）の策定は2008年9月1日であり、改訂を2年後としている。改訂を担当する委員として、基本委員7名に、改訂小委員会委員として、愛知学院大学の内藤宗孝先生、鹿児島大学の犬童寛子先生、日本歯科大学の河合泰輔先生、新潟大学の田中礼先生の4名を加えることとなった。

2. 顎関節症の画像診断ガイドラインについて

1) ガイドラインの公表について

第23回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会（2010年7月25日，東京）で開催されたシンポジウム：顎関節症の診療ガイドライン；2007～2008年度日本歯科医学会プロジェクト研究報告会にて、「顎関節痛の原因診断におけるMRIの有用性に関するガイドライン」と題して発表とディスカッションを行ない、顎関節症専門医ならびに顎関節学会所属の一般医に対する公表や意見聴取を行なった。

2) 日本歯科医学会ガイドラインライブラリー掲載に向けた活動について

上記シンポジウムでの議論を受け、「顎関節痛の原因診断におけるMRIの有用性に関するガイドライン」については、一部見直しを行なう必要があると判断された。このため、掲載にむけての活動はこの作業の進捗状況に応じて対応することとした。

審議事項：

1. インプラントの画像診断ガイドライン活動計画

改訂に関する意見交換の結果、改訂小委員会を中心として作業を進めることで合意した。スケジュールとしては、来年の臨床画像大会（2010年10月頃・新潟）での公表を目標として、1年間に数回の会議を開催し、メール審議を主体として作業を行なうこととした。

2. 顎関節症の画像診断ガイドライン活動計画

日本歯科医学会ガイドラインライブラリー掲載に向けた活動について意見交換の結果、年内を目処にアブストラクトテーブルの再検討を中心に Minds 形式に基づいてブラッシュアップを行い、外部評価の段階まで持ち込むことで了承された。

3. CBCT ガイドライン活動計画

コーンビーム（CBCT）利用のガイドライン策定に向けた活動として、8月28日（土）に東京において行なわれた「歯科診療における歯科用コーンビームCTの基礎的・臨床的研究に関わるシンポジウム」でのディスカッションを受け、意見交換を行った。その結果、欧州の暫定CBCTガイドラインは包括的で本邦での利用は十分可能であり、またその編纂時点からのエビデンス集積にも大差はないと思われるため、これと同様のものを新たに策定する必要はないが、その代わり、上述の改訂版と同調させた形で、インプラント診療におけるCBCT利用に焦点を絞ったガイドライン策定を本委員会で行っていくことで合意を得た。理事会に報告し協力の承諾をとりつけ、基本委員会を中心として補強のためCBCT小委員会を設置し、策定作業に入ることとした。

文責：林 孝文